新居浜弁 最高!? 再考

なんと前回から4年ぶり、久々の新居浜弁の昔話です。みなさんが知ってる昔話もネタが尽きてきましたが、海外童話にも目を向けての復活です。西条の人もだいたいわかると思うけん、読んでみてつかーさい。

「ジャックと豆の木」を 新居浜弁で語ってみると…

そーと一前の話じゃけんどのー、ジャックゆう こわかいしが
むかしむかしのお話です。ジャックという若者が
おかーはんと一緒にの 牛飼いもて 暮らしよったんよ。
お母さんと一緒に、牛を飼いながら暮らしていました。
おとーはんは ジャックが こんまい時に
お父さんは、ジャックが小さい時に
雲の上におる 鬼に 食われた 言よったわい。
雲の上に住む鬼に食べられてしまったそうです。
ほんで 貧乏じゃけん 学校にも行けんし
そして、貧乏なので学校に行くこともできませんし、
えんぺつも 字消しも 買えんし かわいそうなわね。
(ましてや)鉛筆や消しゴムすら買うこともできません。かわいそうなことです。
ジャックは 牛乳売りもて 暮らしよったけど
ジャックは牛乳を売りながら暮らしていましたが、
牛も そーとー 年とってのー。お乳が 出んよーなてしもた。
牛も相当な高齢になって、お乳も出なくなってしまいました。
「しゃーないねや。牛売ったろ。ほんでお金に変えたろ」
「仕方がない。牛を売ろう。そしてお金に変えよう」
ジャックは 牛のつべ 叩きもて 町まで 連れていったんよ。
ジャックは牛のお尻を叩きながら、町まで連れて行きました。
ほんなら しらん おいやんが 声かけてきてのー。
その時、見ず知らずのおじさんが声をかけてきました。
「ほの牛と この魔法の豆 かえことしちゃろか？」
「その牛と、この魔法の豆を交換してあげようか？」
「ほんまに 魔法なん？ しゃがいよんじゃ ないんけや？」
「本当に魔法なの？ 嘘を言ってるんじゃないのですか？」
「他に うってくれ ゆーひと なんぼでも おるけん」
「(いやいや)他にも(この豆)を「売って欲しい」という人は、いくらでもいるんですよ」
「ほーなん。ほんなら かえてんやー」
「そうなんですか。それなら、(豆と牛を)交換してください」
「なんちゃー かまんよ」
「はいはい、いいですよ」
ジャックは さいあがって 家にもんてきたんよ。
ジャックは調子に乗って、家に帰ってきました。
ほやけど おかーはんには めちゃくちゃ 怒られたけん。
だけど、お母さんにはすいぶん怒られました。
「魔法？ ほんな うまげな話あるかね。どーならい…」
「魔法？ そんなうまい話があるわけないでしょ。情けない…」
おかーはんは はがいたらしなって 豆を外に 捨ててしもたがね。
お母さんは腹が立って、豆を外に捨ててしまいました。
ほやけど 次の日見たら おかしげなことに
だけど、次の日見て見てみると、不思議なことに
豆が めちゃでかい木ぃに なっとったけん たまげるわね。
豆は大木になっていて、びっくりしました。
「やっぱり 魔法の豆じゃったんけや。上に登ってみちゃろ」
「やっぱり魔法の豆だったんだ。上に登ってみよう」
豆の木ぃに しがみついて かいがいに 木の枝 つかみもて
豆の木にしがみついて、たがいちがいに木の枝を掴みながら、
登っていったら 一番上に がいな お城があったんよ。
登って行くと、一番上に立派なお城がありました。
ほんで お城から おばやん でてきての。
すると、お城からおばさんがでてきました。
「なんしよんぞね。ここは 人食い鬼の城じゃけん。帰らんかい」
「何をしているの？ ここは人食い鬼のお城よ。(鬼に見つかる前に) 帰りなさい」
ほしたら 鬼の足音が 聞こえてきたわね。
すると、鬼の足音が聞こえてきました。
「なんぼなんでも 見つかったら 食べられてしまうぞね。
「いくらなんでも、(鬼に)見つかると、食べられてしまうよ。
こっちにこんかい」
こっちにいらっしゃい」
おばやんは ジャックを せまくるしい台所の すまんこに 隠したんよ。
おばさんは、ジャックを狭い台所の隅に隠しました。
もんた 鬼は 手ぇに ニワトリ もっとったけん。
帰ってきた鬼は、手にニワトリを持っていました。
ほんなら ニワトリが 台の上で 金の卵 うみよるがね。たまげらー。
すると、ニワトリはテーブルの上で金の卵を産んでいます。驚きの光景です。
「こいつは 毎日 金の卵 産んでくれるんじゃ」
「こいつは毎日、金の卵を産んでくれるのだ」
鬼は 笑いもて おごっつぉう 食べて うれしーなって 寝よらい。
鬼は笑いながらご馳走を食べ、機嫌良くなって寝てしまいました。
ジャックは 鬼が おとーはん 食うたこと 知っとったけん
ジャックは鬼がお父さんを食べてしまったことを知っていましたから、
「クソバカが！ はがいたらしーねや」
「あの野郎！ 腹がたつな！」
ゆーて 鬼が 寝入りばな はいったすきに
と言って、鬼が寝てしまった瞬間に、
ニワトリとって 家に持って帰ってきたんよ。
ニワトリを奪って、家に持って帰りました。
ほんで 金の卵で どうなり こうなり 生活は楽になりよったわい。
そして、金の卵でそれなりに(ジャックの)生活は楽になったようです。
おかーはんは「もーせられんよ」いよんのに
おかあさんは「もう(鬼のところに)行っちゃだめだよ」と言っているのに
「まだ けたくそわるいけん！」ゆーて
「それでも、まだ腹が立っているから」と言って
また登って 鬼んとこに 行くゆーての。
また木に登って、「鬼のところに行く」と言っています。
木ぃやか また 大きなっとって 登りにくいけん
豆の木はまた大きくなっていて、登りにくくなっており
靴脱げて かたちんばになっても おじたりせんと 登りよったわね。
靴が片一方だけ脱げてしまっても、恐れずに登って行きました。
ほんで また台所に隠れて 鬼が帰ってくるの まちよんよ。
そして、また台所に隠れて、鬼が帰ってくのを待っていました。
鬼が 仕事おいて もんてきてのー
鬼が仕事を終了して(城に)帰ってきました。
今度は「竪琴(たてごと)」を持っとらい。
今度は「竪琴」を持っています。
竪琴は 口で ものゆうたら ひとりでに 音楽流しよるけん。
竪琴は口頭で命令すると、自動で音楽を奏でます。
鬼は 気持ちよーなって また寝よらい。
鬼は気持ちが良くなってまた寝てしまいました。
「くらしあげても しゃーないけん 今度は 竪琴 とっちゃろ」
「(鬼を) 殺っても仕方がないので、今度は竪琴を持って帰ってやろう」
ジャックが 竪琴 袋にこすめよったら
ジャックが竪琴を袋にしまっていると
「ぬすとじゃ!!」ゆーて
「泥棒だ!」と、
竪琴が 大きい声出すけん ジャックも たまげらぁ。
竪琴が大きな声を出すので、ジャックもびっくりしました。
「おどれけや！ ニワトリも とったんは!」
「お前か! ニワトリも盗んだのは!」
声あらげて 鬼が おわいかけて くるけん こわいわね。
荒々しい声をあげ、鬼が追いかけてきました。恐ろしいことです。
「なん ぬかしよんでやー。おとーはん 食うたん おまえやろが！」
「何を言ってるんだ! お父さんを食べてしまったのはお前だろう!」
ジャックは そくらんよーに さらこーに 豆の木から降りてきて
ジャックは失敗しないように、素早く豆の木から降りてきて
おかーはんに「はよオノ持ってきて! はよして！」ゆーて
お母さんに「早く斧を持ってきて! 早く! 早く!」 と言って
おじたりせんと オノで 豆の木の ねきを 切り倒したんよ。
恐れずにオノで豆の木の根元を切り倒しました。
「なにしよんぞー!! やめんかい!!」
「何をするんだ!! やめてくれ!!」
なんぼなんでも 木ぃ切られたら 鬼もたまらんけん。
いくらなんでも、木を切られたら鬼もたまりません。
さかしになって 落ちてしもて 角(つの)やか むげてしもた。
逆さまになって落ちてしまい、鬼の角は取れてしまいました。
鬼も 反省したんか しらんけど、
鬼も(この一件で)反省した様で
もー どっかに いってしもて わからんわい。
どこかに行ってしまい、行方はわからなくなりました。
ほんで おとーはんの かたきもとった ジャックは
そしてお父さんの敵討ちもできたジャックは
金の卵で あんきに くらしよった いよったわね。
金の卵のおかげで何不自由なく暮らしていた、ということです。
めっちゃ えーげや。
とてもうらやましい話ですね。

※ストーリーは編集部で一部脚色しております。

【本文内 赤文字 の解説】

こわかいし	わかいし＝若い衆＝青年。「こわかいし」はさらに若い10代中～後半くらいか？ 人によって指す層はまちまち。
えんぺつ 字消し	ご年配の方が言う筆記用具方言。ただ、【えんぺつ】も【字消し】も四国外でも使う模様。これに加えて3大文具方言として【したすけ】＝下敷きがある。
しゃが	偽物、でたらめなことの意味。東予地方で広く使われている。
どーならい	どうにもならない様子。諦めた時に発する場合もある。
かいがい	たがいちがいに、交代こうたいに。
かたちんば	片方が靴、片方が素足(または靴下)の状態。対であるはずの物が揃っていない場合に使うが、靴の場合が多い。
仕事おいて	仕事を置く＝仕事を終えること。使用例「もう時間じゃけん、仕事おいて帰らんかいよ」
ものゆうたら	何かを(音声で)発すると～。 使用例「ものゆうたら、スマホが答えてくれたわ～」
くらしあげても	くらしあげる ＝ くらす ＝ 殺る の意味。 使用例「くらしたろかー!!」
こすめよったら	こすめる ＝ 何かを箱状のものや袋に入れる様子。 こすめよったら ＝ 仕舞っていると～、詰めていると～
そくらんよーに	そくる ＝ 失敗すること、間違えること。そくらんよーに ＝ 失敗しないように。使用例「そくったげや!!」
さらこーに	さらこい ＝ すばしっこい。さらこーに ＝ すばしっこく。 漢字を調べると【敏こい】と出てきました。
むげて	むげる ＝ 皮膚の一部などが剥がれてしまうこと。 もげる ＝ も同意義だが、全国的に使われている模様。 使用例「かさぶた むげたげや。」

ニュアンスや発音等は、地域、性別、年代などで異なります。また地域、性別、年代などで使う言葉、使わない言葉もございます。

過去に掲載のバックナンバーは編集部にお越し頂ければ、無料でお渡しできます。
また、過去掲載分のPDF版をダウンロードできます。 ホージャ 新居浜弁 検索

あかがねミュージアムにて開催中



にいはまさんぽ「いってこーわい!」新居浜弁あつめてみた

新居浜弁をいろいろ集めて展示中。Hoo-JA!で過去に掲載した「桃太郎」、「シンデレラ」、「浦島太郎」の新居浜弁を音声で聴くこともできます。他に「新居浜弁おみくじ」など実施中。

■日時　4月7日(日)まで開催中　9:30～17:00
■会場　あかがねミュージアム にいはまギャラリー
■問い　あかがねミュージアム　0897-31-0305

※休館日がございます。詳しくはホームページで。
あかがねミュージアム 検索



半2段



半2段



半2段



半2段

配布員さん募集中 詳しくは下記のQRコードから



全5段



半5段



半5段